

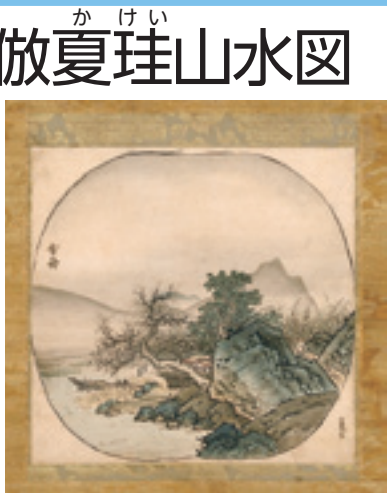
# 発見！雪舟筆 幻の倣夏珪山水図

このたび、雪舟の真筆があらたに発見されました。550年ほど前に制作された団扇形をした水墨画で、過去の名画に倣って描かれた、いわゆる倣古図といわれるものです。

雪舟筆のこうした「団扇形の倣古図」は、江戸時代前期に狩野派が模写した作品によって、かつて少なくとも12点が存在していたことがわかっています。そのうち、現在、世に伝わっているものは6点。いずれも重要文化財に指定され、京都国立博物館、岡山県立美術館に1点ずつ、山口県立美術館と個人にそれぞれ2点ずつ収蔵されています。

ただし、もう1点、ごく一部の研究者や好事家のみに存在が知られながら、昭和8年以降、所在がわからなくなっていたものがありました。今回発見されたものは、まさしく、この幻の1点。雪舟による「団扇形倣古図」シリーズ7点目のものです。

本展では、同シリーズのうち5点を一堂に展示し、また関連作品と併せて全10点の構成で、新たに見出された雪舟をご紹介します。



【新発見】雪舟等楊筆「倣夏珪山水図」 個人蔵 室町時代

**＊「倣古（ほうこ）」**  
「倣古」とは、もともとは、「過去の名画家に倣（なら）って描く」ということを意味しています。室町時代の日本には、中国絵画に対する特別な憧れがありました。宋や元の絵画に最高の価値が置かれ、当時の人気ランキングでは、李唐、夏珪、玉澗、梁楷といった画家がトップクラス。こうした本場中国の200年以上も前の人気画家の作風を描き分ける技術を修得しておくことは、雪舟のみならず当時の日本の水墨画家にとって必須の条件でした。

## 雪舟発見！展

2017年10月31日(火)→12月10日(日)

**開館時間** 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

**休館日** 月曜日 ※ただし11月6日、12月4日 **ファーストマンデー** は開館

**観覧料** 一般500(400)円/シニア・学生400(300)円/18歳以下は無料

※シニアは70歳以上の方、( )内は20名以上の団体料金。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

【主催】山口県立美術館、山口市、一般財団法人山口観光コンベンション協会 【特別協力】エフエム山口 【企画協力】浅野研究所

### トークイベント

【日本美術応援団、雪舟筆 幻の倣夏珪山水図を応援する！—山口県 入団記念スペシャル】

【ゲスト】山下裕二(明治学院大学教授)、山口晃(画家)

【日時】11月4日(土) 14:00～15:30

【会場】山口県立山口図書館レクチャールーム

【定員】250名(先着順、要申込)

【料金】500円(「雪舟発見！展」の観覧券が必要です。)

### シンポジウム

【雪舟の倣古図と〈筆様〉】

【パネリスト】島尾新(学習院大学教授)

野田麻美(静岡県立美術館主任学芸員)

荏開津通彦(当館普及課長)

【日時】12月9日(土) 14:00～15:30

【会場】山口県立美術館講座室

【定員】80名(先着順) 【料金】無料

【お申込み方法】参加希望のイベント名、参加者の氏名、年齢、住所、電話番号をご明記の上、美術館ウェブサイトのお申込みフォーム、または往復はがきでお申し込みください。当館より折り返しご連絡いたします。

# 2017 - 2018 schedule

山口県立美術館 平成29年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
9			9/12(火)～10/15(日)	9/16(土)～10/1(日)		
	9/26(火)～10/15(日)	9/26(火)～10/15(日)	日本画の山川草木Ⅱ 近代の風景と山水	第71回 山口県美術展覧会		
10	ふたり	県美新入生 歓迎会				
	休室(10/20～30)		全館休館(10/16～19)			
11	特別展 10/31(火)～12/10(日) 雪舟発見！展			特別展 10/20(金)～12/10(日) 創建1250年記念 奈良 西大寺展 叡尊と一門の名宝		
	ファーストマンデー 11/6、12/4			ファーストマンデー 11/6、12/4		
12	全館休館(12/11～1/1)					
1	1/2(火)～4/8(日)	1/2(火)～2/18(日)	1/2(火)～2/18(日)	1/23(火)～1/28(日)	1/31(水)～2/4(日)	2/7(水)～2/11(日)
	昭和の家族	春を探しに	春を探しに	第70回山口県学校美術展覧会	山口県立大学卒業制作展	山口芸術短期大学卒業制作展
2				2/14(水)～2/18(日)	2/24(土)～4/8(日)	
				山口大学教育学部美術教育卒業・修了制作展	日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン展 ヒュゲのかたち	
3		2/24(土)～4/1(日)	2/24(土)～4/8(日)	特別展 2/24(土)～4/8(日) 日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン展 ヒュゲのかたち		
		コレクション展特別展示 重要文化財「防長土図」 驚愕！250年前の3D巨大地図	コレクション展特別展示 禅寺の肖像画	ファーストマンデー 3/5、4/2		

### Information

#### ■休館日

月曜日(祝日・休日の場合は開館)、年末年始(1/2から開館)

※ただし、**ファーストマンデー** 特別展開催中の第1月曜日は開館。

展示替期間 2017年10月16日(月)～19日(木)、

12月11日(月)～2018年1月1日(月)、2月19日(月)～23日(金)

#### ■開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)

#### ■料金

コレクション展：一般300(240)円 学生200(160)円

※( )内は20名以上の団体料金。

※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に

在学する生徒は無料。

※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

特別展：別途定めた料金



山口県立美術館

Yamaguchi Prefectural Art Museum

〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1

TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790

http://www.yma-web.jp/

f 美術館情報をFacebookで紹介しています

Yamaguchi Prefectural Art Museum

128

Contents

コレクション展

県美新入生歓迎会

コレクション展特別展示

重要文化財「防長土図」 驚愕！250年前の3D巨大地図

禅寺の肖像画

特別展

創建1250年記念

奈良 西大寺展

—叡尊と一門の名宝—

日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念

デンマーク・デザイン展 ヒュゲのかたち

雪舟発見！展

年間スケジュール



松田正平《四国犬》1990年 油彩／カンヴァス 山口県立美術館

山口県立美術館ニュース「天花」

# 天花

TENGE

Collection

コレクション展

## 県美新入生歓迎会 2017 9/26 四 - 10/15 日

表紙作品解説

松田正平《四国犬》1990年 油彩／カンヴァス 山口県立美術館

淡いピンクを背景に、口から真っ赤な炎を吐く黄色い怪獣、、ではなく一匹の犬。つぶらな瞳といびつな体の輪郭、鋭いようでいて、でもそうでもないようなむき出しの歯も愛嬌たっぷりです。モデルは画家、松田正平(1913～2004)の愛犬「ハチ」。松山生まれの四国犬です。

透明感のある色彩と自由闊達な筆遣いで、多くの文化人や知識人を魅了した松田正平。書の名人としても知られています。白洲正子がどうしても欲しかったという松田正平筆の短冊には、「犬馬難鬼魅易」と書かれていました。鬼や恐ろしい化け物など、人を驚かすようなものを描くのは易しいが、犬や馬など日常のありふれたものを生き生きと描くのは難しい。それは身の回りにある(小さな)世界を慈しみ、それらを描ききることに生涯を費やした松田正平の創作活動をそのまま表しているかのようです。おおらかさと温かみに満ち溢れたカンヴァス。そこに描かれた植物や小さな動物、魚たちには、一見“ヘタウマ”な描写に思えるその外観からは想像できないほど、瑞々しい生命力が漲っています。

松田正平の《四国犬》ハチは、昨年度(平成28年度)新しく山口県立美術館のコレクションに加わりました。すぐれた美術作品を収集し、芸術文化を未来に伝えていくことは、美術館の大切な使命の一つ。この秋開催のコレクション展では、過去5年間に県美の仲間に加わった作品の中から12点をご紹介します。“新入生”ハチの愛らしい姿と併せてお楽しみください。

(専門学芸員 萬屋健司)

貴重な地域のお宝を紹介します

重要文化財「防長土図」  
～驚愕！250年前の3D巨大地図～

2018年2月24日(土) → 4月1日(日)

今から250年前の明和4年(1767)。秋藩が誇る天才地理図師・有馬喜惣太の熱い情熱によって、驚きの立体地形模型が生み出されました。

防長全土を表す東西5mを超える巨大さもさることながら、大小100以上の紙製立体パーツからなる精巧さ、色彩豊かに施された地図情報の綿密さに、現代の私たちも瞠目せずにはいられません。このたび山口県立山口博物館のご協力のもと、この「防長土図」を特別に公開いたします。



重要文化財 《防長土図》 山口県立山口博物館蔵

禅寺の肖像画

2018年2月24日(土) → 4月8日(日)

禅宗では、師から弟子へと法を伝えてゆくことをたいへん重んじました。そのため、修行を終えた弟子が師の肖像画を画家に描かせ、その肖像の上に師に説法の語を書いてもらうことによって、一種の卒業証書として用いることがありました。また、禅寺の歴代住持の肖像画は、その寺院の開祖である僧の命日に行われる開山忌などの儀式で掛けられることがありました。これらの理由から、禅寺には頂相と呼ばれる歴代住持の肖像画が保管されることが珍しくありません。高僧の頂相はすぐれた画家によって制作されることが多く、その時代を代表する画家の手によって描かれた肖像画の好例として見ることができます。この展覧会では、雲谷等顔の作品など中世防長地方の頂相16点(予定)を展示して、禅宗肖像画の世界をご紹介します。



雲谷等顔筆 惟松円融像 桃山時代 常栄寺蔵

創建1250年記念  
奈良  
西大寺展  
—叡尊と一門の名宝—



重要文化財 塔本四仏坐像(阿闍如来)  
奈良時代 奈良・西大寺  
画像提供: 奈良国立博物館



重要文化財 釈迦如来立像(部分)  
鎌倉時代 奈良・西大寺  
画像提供: 奈良国立博物館

2017年 10月20日(金) → 12月10日(日)

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 月曜日 ※ただし11月6日、12月4日(ファーストマンデー)は開館

観覧料 一般1,300(1,100)円/シニア・学生1,100(900)円/18歳以下無料  
※シニアは70歳以上の方、( )内は前売りおよび20名以上の団体料金。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

【主催】奈良西大寺展山口実行委員会(山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送、山口市)、真言律宗、総本山西大寺、日本経済新聞社、BSジャパン  
【特別協力】神奈川県立金沢文庫  
【協賛】損保ジャパン日本興亜、大仲社、三井不動産  
【山口会場後援】山口県教育委員会、山口市教育委員会、一般社団法人山口県観光連盟、山口商工会議所、一般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合  
【山口会場特別協力】エフエム山口  
【山口会場特別協賛】カシワバラコーポレーション

奈良時代、聖武天皇の娘帝・称徳天皇が、「鎮護国家」を願い創建した西大寺。平城京においては、東大寺などと並び称される寺格を誇った西の大寺でした。鎌倉時代には、高僧・叡尊が、密教において戒律を重視した教え(後の“真言律”)を広め、独自の宗教活動を展開します。さらに、叡尊の教えは弟子たちによって近畿から東国へ、そして瀬戸内から山口を経て九州一円へと広がり、その過程で、数多くの仏教美術の名品が制作されたのです。本展では、創建1250年を迎えた西大寺と、近畿、関東、中国、九州地方の真言律宗ゆかりの寺院に伝わる彫刻・絵画・工芸品など、国宝7件、重要文化財39件を含む仏教美術約80件を紹介します。



重要文化財 十二天曼荼羅図  
鎌倉時代 山口・長門国分寺



国宝 金銅透彫舍利容器  
鎌倉時代 奈良・西大寺  
画像提供: 奈良国立博物館

山口に伝わる  
日本最古の  
十二天曼荼羅

2016年  
国宝指定!  
叡尊80歳の  
お姿



国宝 興正菩薩坐像  
鎌倉時代 奈良・西大寺  
画像提供: 奈良国立博物館

秘仏・愛染明王 特別公開!  
展示期間 11月21日~12月10日



重要文化財 愛染明王坐像 鎌倉時代  
奈良・西大寺  
画像提供: 奈良国立博物館



重要文化財 文殊菩薩騎獅像  
鎌倉時代 奈良・般若寺  
画像提供: 奈良国立博物館

DENMARK:  
DESIGN  
デンマーク・デザイン展  
ヒュゲのかたち

2018年  
2月24日(土) → 4月8日(日)

休館日 月曜日  
※ただし3月5日、4月2日(ファーストマンデー)は開館

ヨーロッパ大陸から突き出た半島と多くの島々から成る、北欧の国デンマーク。世界屈指の福祉先進国であり、持続可能な環境を目指すクリーンでエコな社会と高い税金、そしてデザイン大国としても知られています。

「世界一幸福な国」ともいわれるデンマークの人々の豊かな暮らしの秘訣として、近年日本でも注目されているのが“ヒュゲ(hygge)”。ヒュゲとは、「居心地のいい時間や空間」という意味のデンマーク語です。親しい友人や家族と室内で過ごすヒュゲなひとときを、デンマークの人々は何よりも大切にしてきました。ささやかな日常が穏やかで満ち足りたものになるように…。そうして、暮らしに寄り添うデザインが生まれたのです。

本展は、ロイヤル コペンハーゲンの食器からミッドセンチュリーを彩る名作家具、バング&オルフェンの近未来的な音響機器にレゴブロック、そして21世紀のプロダクトデザインまで、デンマーク・デザイン100年の歴史を辿る、日本初の展覧会です。約200点の作品をとおして、北欧の小さな国が育んだ豊かなデザイン文化を紹介し、その魅力に迫ります。

観覧料 一般 1,100(900)円/シニア・学生 900(700)円/18歳以下無料  
※シニアは70歳以上の方、( )内は前売りおよび20名以上の団体料金。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障害者手帳をご持参の方とその介護の方1名は無料。

【主催】山口県立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口  
【後援】デンマーク大使館  
【展示協力】PP Möbler ApS、Kvadrat A/S  
【企画協力】株式会社プレーントラスト  
This exhibition is curated by Designmuseum Danmark and Michael & Mariko Whiteway.



アーネ・ヤコプソン 肘掛椅子(スワンチェア)  
1957-58年 個人蔵  
photo: Michael Whiteway



ポール・ヘニングスン ペンダントランプ(PH5)  
1958年 ルイス・ポルセン 個人蔵  
photo: Michael Whiteway



皿(ブルーフルーテッド)  
1785年頃 ロイヤル コペンハーゲン  
塩川コレクション